

自民・公明 対 野党5党と市民・国民 戦争法 安保法制 廃止、立憲主義回復へ



「5野党共闘の実現。涙が出るほど感激した」
挨拶する小林きょう子茨城選挙区予定候補

2016
年

日本共産党 新春のつどい 参院選勝利、 小林きょう子の議席必ず

3月12日、取手福祉会館で、夏の参院選勝利に向け、参院比例代表おくだ智子予定候補、小林きょう子茨城選挙区予定候補の必勝をめざす新春のつどいを行いました。来賓から「野党共闘が進んでいることに喜んでいる。比例8以上必ず定数の複数区で勝利を」と激励のあいさつ。また、初参加の来賓からは「憲法改悪の動きから9条を守ってきた、この参院選が正念場、安倍政治に勝てるかもしれないと感じている」などの期待のあいさつが寄せられました。

小林きょう子予定候補は、「原発事故から5年の節目、原発ゼロへの是非とも国会へ送り出してください」と訴え。おくだ智子予定候補は、「2000万人署名等市民運動に支えられ、野党の共闘が進んでいる、日本共産党の躍進で戦争法廃止を」とあいさつしました。

後援会員の生伴奏で平和の歌の合唱もあるなど、「野党と市民の共同で政治を変えよう」と参院選勝利を誓う集いでした。

高浜原発

再稼働とめる

原発ゼロ

すべての原発再稼働中止の決断を

9日、大津地裁が関西電力高浜原発3・4号機の運転停止を命じた仮処分を決定しました。それにより1月末に再稼働し営業運転をしていた3号機は10日夜停止、4号機は2月26日再稼働したものの3日後にトラブルで原子炉が緊急停止し、起動のめどは立っていません。3・4号機は昨年4月福井地裁で再稼働を禁じ

る仮処分決定が出されましたが、8か月後に後任の裁判長が処分決定を取り消し、再稼働していました。今回の大津地裁の判断は、なし崩しに再稼働することへの市民の不安、怒りに沿ったもので、福島原発の原因が未解明の中、「再稼働は許されない」との画期的な判決でした。「再稼働ドミノ倒し」の始まりとしたいものです。

各地で 野党共闘進む

今夏の参院選。先の熊本での5野党と市民連合による無所属候補につづき、参院選一人区宮城県で5野党統一候補の第一号が誕生しました。さらに長野県、徳島県・高知県の合区、沖縄県で候補の一本化も発表されています。他にも島根・鳥取の合区など各地で動きがあります。また、4月に行われる北海道5区衆院補選での野党統一候補もきまりました。正に『市

民とともに動き出した野党共闘』です。いずれの候補も、日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の5党首合意（2月19日）の「憲法違反の安保関連法廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回、安倍政権の打倒を目指すことはじめ、貧困と格差是正、民主主義の問題など「共通政策」での政策協定を結ぶとしています。

東日本大震災・原発事故から5年

3・11 フクシマを忘れない！ 取手駅前行動



「避難民と言うが、5年たっても帰れないのは、避難民とは言えない」…
集まった参加者=3月11日

3・11フクシマを忘れない!! 取手でも集会

東日本大震災・東京電力福島第1原発事故から5年。

11日夜、取手駅東口広場で「3・11フクシマを忘れない取手駅前行動」（主催：くらしと平和を守るネットワーク取手・金曜行動委員会）が開かれました。寒風が吹き底冷えのする中、主催者が「5年たっても全然変わっていない福島状況、いまだに約10

万人もの人々が県内外での避難生活を余儀なくされていることに思いをはせよう」とあいさつ。各団体、個人のリレートークが続き、飛び入りで高校生の発言もあり盛り上がりしました。

「安倍政権が進める原発再稼働は許されない、エネルギーの転換を等」のアピールを採択。最後に「原発廃炉」「安倍は退陣」「野党は共闘」とコールをあげました。

上野たかしの県議会だより

保育所の待機児問題。そのブログに、同じ体験をした子育て世代はもとより大きな反響が広がっています。

私の所属する健康福祉委員会では、それにも関わらず、「保育士資格・就学資金を貸し付ける」とするだけの県の案。県予算中、福祉

予算はわずか17%しかありません。私は「保育士給与を県の責任で引きあげよ」と抜本的改革を求めました。「福祉予算を増やし、暮らしまもれ」のみなさんの声と力を合わせ実現させたいとの思いで毎回議会に臨んでいます。



「給食を作る職員との会話も教育のうち」と校長先生。水戸南高校の定時制夜間での学校給食です。
左から3番目＝上野県議



下高井の永山公民館前を流れる相野谷川を沿っての残土埋めたて「川をせき止めないで」など住民は心配です。業者寄りともいえる県・市の条例の見直しが求められます。

桑原周辺68ha 新たな開発計画

どうなる取手駅西口開発

取手市は、生活に身近な環境整備を後に回し、取手駅西口開発に基盤整備（土地造成と道路建設）だけでも120億円（総事業費176億円）もの税金をつぎ込んできました。

事業計画（事業期間・土地利用計画・事業費等）は、繰り返し変更・見直しが行われ、このままでは、今後、さらなる事業費の拡大は避けられません。

駅前一極集中から 今度は二極化へ？

取手駅前からイトーヨーカドー・東急ストア等大型店がこれまで次々に撤退。しかし、市は「中心市街地活性化」の名目で西口駅前開発に湯水のごとく税金を投入しています。この上新たな「桑原周辺地区」への大規模開発を本格

的に進める方針です。

平成26年度の地権者アンケートを実施。「桑原周辺開発」に市長は、27年度780万円、28年度には、2470万円の事業計画（案）策定など関係予算を計上しました。

広さは競輪場敷地の7倍

開発予定区域は、ほとんどが農地で協同病院や取手警察署周辺です。今年3月に全線開通した上新町環状線と国道6号交差点周辺の68ha（競輪場敷地の約7倍）の広さ。地権者数は170名に及びます。

市は、当該地区に新たな商業・業務拠点として新市街地を作り出すことで、市全体の活性化につながるとしています。今、新たな大型開発に疑問の声が上がっています。

深刻「保育園落ちた！」

保育所増設・保育士の待遇改善が急務

「保育所の待機児ゼロへ」国は全力をつくせ

「保育園落ちた。日本死ね！」の匿名ブログ記事が大問題となり、国会でも取上げられました。民主、日本共産党議員らの追求に、安倍首相は「緊急対策で待機児ゼロを実現する」と表明。日本共産党は、「公立保育所の大幅増と保育士の待遇改善に国が財政的責任を果たすことを強く求めました。」

こうした事態が起きているのは、H16年から国が保育所の運営費・整備費の国庫負担をやめ一般財源化するなど保育への責任を放棄し、公立保育所の廃止、民営化を進めてきたからです。その結

果、公立保育所はH16年の12、875ヶ所からH26年には4分の1減らされ、10、000ヶ所弱となりました。H25年、国は待機児の解消を図るとして無資格の職員配置も認め、保育水準を切り下げ、営利企業の参入を拡大しました。しかし、待機児は増え続け、民間まかせは行きづまっています。保育予算を増やし公立保育所の大幅増や保育士の低すぎる給与（全産業平均より年間166万円低い）を改善するなど待遇の抜本的改善で、国が保育への責任を果たすことは急務です。

「保育所減らす」市の整備計画は撤回・見直しを

待機児は現在86名となっている取手市はどうか。第3次保育整備計画（H27年～31年度）で、市はこれまでの2次計画で、台宿保育所を廃止、「3ヶ所（井野、稲、戸頭東保育所）を民営化し、職員は43人削減した」と評価。第3次計画では吉田と舟山保育所統合はじめ、さらに民営化拡大で市の財政負担の軽減を図る」としています。市が昨年実施した市民アンケートで「子育

てしやすいまちにするため必要なものは？」の問いに、1番多かったのは「保育所などの保育環境の充実」が36・9%。「経済的支援を」は2位（30・2%）の結果でした。市はこの結果をどう受け止めているのでしょうか。国の言うままの政治では子育て支援や市民の暮らしは守れません。今開会中の市議会で、日本共産党は「第三次整備計画」の撤回・見直しを求めています。

○ドキュメンタリー映画・上映

「種まきうさぎ」

一フクシマに向き合う青春一

森康行監督と若者のトークやフルート演奏もあります。

日時 3/27(日)
1時30分・開演

場所 取手市福祉交流センター

安保関連法制の撤廃を求める取手・文化の会／戦争法廃止9条壊すな総がかり取手行動実行委員会 共催 〈問い合わせ先：遠藤 090-4370-0765〉